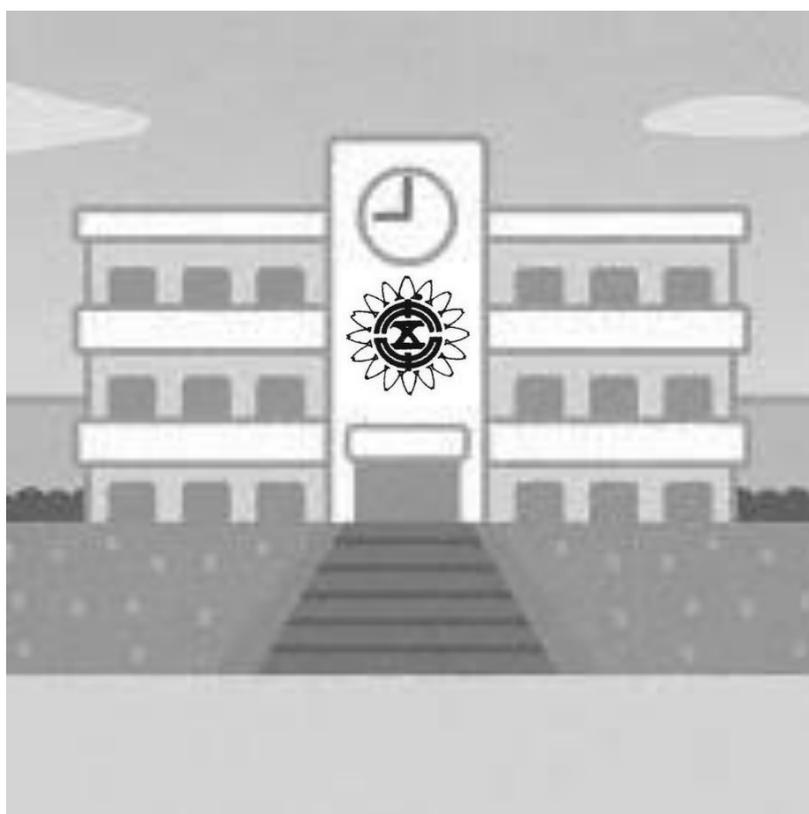


清瀬市立清瀬第五中学校

学校生活における
新型コロナウイルス感染予防の取り組み

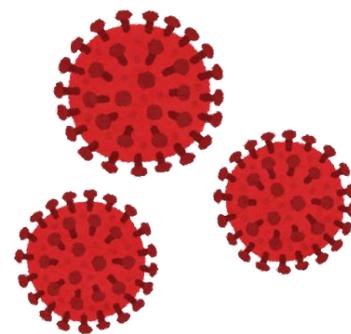
【生徒・保護者向け資料】



年 組 番 氏名

はじめに

全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスは、日本の生活にも大きな影響を与えています。2月下旬から続いた全国の小中学校の臨時休業、各種イベントの自粛や中止など、私たちの生活に大きなダメージを与えています。緊急事態宣言が解除された今も予断を許さない状況であることに変わりはありません。この資料は、新型コロナウイルスの感染が心配されている現状の中で、学校生活を過ごす生徒の皆さんが、今までの通常の学校生活と異なる取組をおこなう点について整理し、要点をまとめたものとなっています。



残念ながら、新型コロナウイルスは目に見えるものではありません。見えない敵と闘う中で、皆さんが少しでも安心・安全に過ごすことができるよう、清瀬第五中学校として現状の中で最大限の対策を行っていかうと思います。今までの「普通の生活」とは異なる部分もありますが、最大限の対策をとるための方法として、皆さんに協力してほしいと思います。

まだ先が見えない闘いではありますが、毎日を一生懸命生き、そして少しずつ日常を取り戻していくことができるよう、今できることを共に頑張っていきましょう。

保護者の方へ

今回の新型コロナウイルスの影響による小中学校の一斉臨時休業においては、保護者の皆様の多大なご協力とご負担があったことを、この場を借りて深くお礼申し上げます。我々教職員も、一日も早く元の学校生活を取り戻すために準備を進めているところではありますが、現状ではまだ元通りの生活に戻すことには大きなリスクがある状況です。

この資料には、学校生活を再開するにあたり、最大限リスクを低減できるよう配慮しながら、これから始まる学校生活がお子さんにとって充実したものとなるよう、新型コロナウイルス対策の最大限の取り組みを紹介しています。なかなか行き届かない部分もありますが、できる限りの体制をとりながらお子さんの様子を見守りたいと思いますので、ご心配な面もあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



これからの取り組み

学校生活の流れに沿って、それぞれの場面で新型コロナウイルス感染予防対策に係わる取り組みの内容と目的を紹介していきます。今までの学校生活との違いをしっかりと理解し、各自しっかりと取り組んでいきましょう。

①自宅でやること【健康観察表の記入】

登校する前に… 朝の検温、体調のチェックをし、健康観察記録表に記入しましょう！

健康観察表(新型コロナウイルスNO. 4)		姓 名		姓 名											
学年	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
検温時間	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝
体温	40℃														
平熱	38℃														
発熱	38℃														
検温は平熱より1℃以上熱が持続する場合は、保護者の方で裏付けてください。	38℃														
咳	あり														
痰	あり														
鼻水	あり														
頭痛	あり														
嘔吐	あり														
下痢	あり														
その他															



熱だけでなく、下の項目にもチェックをつけましょう。

もし、体調に異常のある場合は…

平熱よりも1℃以上熱がある場合などは無理せず欠席し、しっかりと体を休めよう。その場合は、保護者の方に学校へ連絡を入れてもらいましょう。

※観察表や検温を忘れた場合は、保健室で検温等を行います。

※保護者の方にも健康観察表を確認してもらいましょう。

②登校時【持ち物や服装】

忘れ物をせず登校！昇降口では健康観察表の提出を！



・服装

五中ジャージまたは標準服（制服） 基本的にはどちらでも構いません。

ただし、情勢が落ち着くまではできる限り、五中ジャージで登校しましょう。また、その日の授業に体育がある場合は、必ずジャージで登校しましょう。ジャージだけだと寒い場合はジャージの下にセーターを着用してもよいです。

・持ち物

○必ず持ってくるもの・・・ハンカチまたはタオル、ティッシュ、マスク

（昼食があるときは）ランチマット、健康観察表

○できれば持ってくるもの・・・予備のマスク、アルコールを含む除菌シート



除菌の為に洗濯がしやすい、放課後の部活動に参加しやすい（更衣室の利用をせずに済む）などのメリットがジャージにはあるので、自己判断で選びましょう。ハンカチまたはタオルはないと絶対に困ります。また、友人とのハンカチ等の貸し借りは厳禁です。

③こまめに手洗い【手洗いの目的とポイント】

手洗いの徹底

(登校後・給食前後・トイレ後・清掃後・用具共有後・下校前)



登校後に外からウィルスを持ち込まない！石けんでの手洗いが、感染予防の第1原則！
手洗いをこまめにするために必要な清潔なハンカチ・タオルの持参！（通常時より手洗い回数が多い&毎日交換）

今までの学校生活では手洗いをしていなかった場面でも、**こまめに手洗い**を！

今回の対策の中でも、生徒の皆さんに頑張ってもらいたいのは、**ウィルス対策の最も基本である手洗い**です。特に登校時は外からのウィルス、給食後は自分の顔に触れた手、用具共有後というのは、不特定多数の人が触れた道具（実技教科、理科などの学習で使う道具）を使った後、それらの除菌が目的です。また、手洗いはアルコール消毒と同等の除菌効果があり、除菌への意識も高まります。

④換気の徹底【密閉空間をつくらない】

教室も廊下も換気！空気の流れをつくりましょう！

生徒の皆さんの登校前に、教室・廊下の窓、ドアを開けて（30cm以上）換気を行います。基本的には下校終了までそのまま開けておきます。雨の日や強風の日もできる限り、窓を開けておいたり、ピストン換気を実施します。

また、冷房使用時も、室温が高くなり過ぎない範囲で、窓やドアを開けておきます。

「密閉」の状態をつくらないように、絶対に必要な作業です。寒くなったり、暑くなったりすることがあると思いますが、**各自が服装で調整する**ようにしましょう。

⑤授業時の確認【いつもと少し違う授業に】

授業形態について

学校再開後、2週間は分散登校となり、クラスで一斉に授業を行うことをできる限り減らします。状況によっては分散登校を延長します。

【全教科共通】

クラスを2分割し、別々の教室で授業を受け、座席の配置も密を避ける形にします。

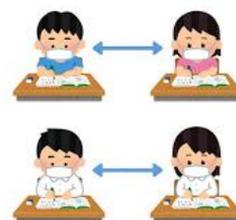
また、ペアやグループで対面して会話をすることを控えるため、これまで行っていたようなグループでの活動は極力減らし、教科ごとに工夫して授業をすすめます。

【特別教室を使う教科】（技術・家庭・音楽・理科など）

座席の配置や換気方法などを工夫し、感染予防対策を行います。また作業内容等についても工夫します。

※具体的な例（当面の間、行わない学習）

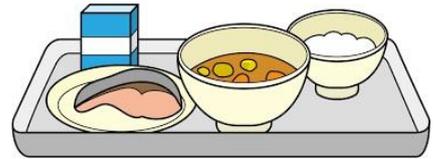
- ・家庭科 調理実習を行わない
- ・美術家 モデルを囲んでのデッサン等
- ・体育科 大人数が密集するような運動、水泳
- ・音楽 合唱練習、リコーダーを使った学習
- ・英語 近距離で対面してコミュニケーションをとること



授業時間は学校生活で一番長い時間です。3つの密が起こりやすい状況も、授業を行う教室です。学習形態、活動内容をしっかりと検討し、感染リスクを下げる取り組みを計画していきます。そのために、本来予定していた学習内容の順序・時期を入れ替えたりする対応を行う場合もあります。

⑥給食時の対応【安全な食事をするために】

学校生活の中で一番気をつけなければいけない時間です。楽しみにしている時間でもありますが、予防対策に意識を持ちましょう。食べるということは、口を開けるといこと。ウィルスを口に入れないためにも、次のことをしっかりと守りましょう。



- ①手洗いをしっかりし、マスクは「いただきます」までははずさない！はずしたマスクはポケット等にしまえます。食べ始めは先生の指示で行います。（「いただきます」の全員の発声はしません）
- ②机は班の形にはせず、正面を向いた状態のままです。机の上にはランチマットをひきましょう。また、飛沫防止のため、食べながらの会話を控えましょう。
- ③配られたものは減らせません。食べきれないものは残して下さい。
- ④はじめに、おかわりや量を増やすなどは先生が行います。希望する人の場所に先生が行き、盛り付けます。
- ⑤先生の指示に従い、食器の片付けは各自で行います。牛乳パックはまとめません。
- ⑥片付け後は、速やかに手洗いを行ってから、マスクをつけましょう。チャイムが鳴るまでは自席で読書等を行い、静かに待ちましょう。
- ⑦終わりのチャイムが鳴ったら、各自昼休みになります。食べ終わってない人も、片付けを始めましょう。
- ⑧全員が食器を下げた後、当番と先生で片付けを行い、ワゴンを運び給食終了です。

全ては感染リスクを減らすための行動です。

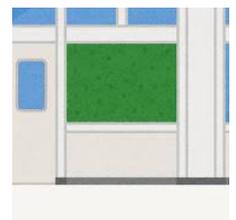
手洗いはもちろんのこと、一人一人が飛沫防止を意識した行動を心がけましょう。

⑦休み時間の過ごし方【やってもいいこと 避けること】

昼休みの図書室・校庭の利用については、当面は1学年ずつの利用とします。活動場所には各学年の先生がついてくれます。

①廊下での交流

窓などを開放し、換気を徹底します。また、大人数で密集しての交流は望ましい状況ではないので、分散するように気をつけ、**友達との距離を1m以上あける**ようにしましょう。また、心配な状況がある場合は、先生が声をかけるようにしていきます。



②トイレの利用

トイレは通常通り利用して良いですが、トイレで会話したり、必要以上に長く留まることは避けましょう。手洗いも忘れずに。

③図書室の利用

基本的に換気をした状態となります。「会話は極力しない」「個人での利用が基本」を意識して利用してください。また、心配な状況がある場合は、その場にいる先生が声をかけるようにしていきます。（混雑した場合は入場整理を行う場合もありますので、そのときは指示にしたがってください）



④校庭の利用

校庭でのサッカー、ドッチボールは可とします。屋外ではありますが、大人数で密集するような状況はできるだけ作らないように気をつけて活動してください。また、心配な状況がある場合は、その場にいる先生が声をかけるようにしていきます。



学校生活で一番長い休憩時間である昼休みには、しっかりとリフレッシュすることも大切です。それぞれの活動場所での諸注意を守り、利用してください。昼休みに各活動場所を利用した後は、必ず手洗いを実施してください。（不特定多数が触れる用具等を利用するため）

⑧放課後の活動について

放課後活動については、基本的に授業と同じルールとなります。

【清掃】

当面の間は、生徒による清掃は行いません。用事がある人は除いて速やかに下校しましょう。生徒が下校した後に、先生方で清掃・除菌行います。特に用事のない生徒は速やかに下校して下さい。

【その他】

「ペア・グループで対面して会話することは控える」「手洗いを徹底する」「現在できない活動の時期をずらす」など…。放課後活動は、その活動につく先生からの指示で取り組みましょう。



⑨部活動について

<部活動を再開する上で>（部活動の再開時期はまだ決まっています。）

学校生活が始まり、それに伴って部活動も開始していきませんが、あくまでも部活動に取り組む皆さんの健康や安全の確保が最優先です。そのため、皆さんも現在の状況を理解し、以下のことに注意して参加するようにしてください。

活動する上での注意事項

- ① 換気の悪い密閉空間を避ける（密閉）
- ② 多くの人々が密集する状態をつくらない（密集）
- ③ 近距離での会話や発声をしない（密接）

3つの条件（3密）が重ならないよう、活動内容を工夫する

部活動開始前

部活動で着替える場合、更衣室を利用する人が多くなり過ぎないようにする。
また、活動する前には必ず手洗いをします。

活動中

- 風邪の症状（せき、くしゃみ、のどの痛み）や発熱等の症状がある場合は部活動への参加は見合わせ、自宅で休養する。
- 校内で活動する部活動は、換気を徹底する。
1時間に1回以上、窓を開けて5～10分程度の換気を行う。
- 感染を予防するために活動内容や方法を工夫する。
<避けてほしい活動>（全部活共通）
 - ×大きなかけ声 ×密集した形でのミーティング
 - ×狭い場所での練習 ×飲み回しやタオルの使い回し ×道具の使い回し
- 雨天時に外部活が校内で活動する場合も、換気を徹底し、密集を避ける
- ミーティングを実施する場合は、人との間隔をとり、向き合う状態をなるべく避けるようにする

部活動終了後

各部活動とも、練習終了時には必ず手洗いを行ってから、下校する。

⑩欠席の場合・・・

【次の場合は出席停止となります】

- ・本人が感染した場合（治癒するまで）
- ・本人が濃厚接触者に指定された場合（14日間）
- ・海外から帰国した場合（帰国後14日間）
- ・発熱やかぜ症状がみられる場合（治癒するまで）



かぜ症状について

- ・37.5度以上の発熱がある
- ・平熱+1度の発熱がある
- ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさがある
- ・軽度であっても咳、のどの痛みがある

※発熱があった翌日は経過観察のため、登校しないでください。

- ・感染への不安による自主的な欠席（医師の判断や、合理的な理由があり、校長が認めた場合）